

皆様、明けましておめでとうございます。  
 本年も無事に新しい年を迎えることができ、地域の皆様、そして病医院の先生方に心よりお礼申し上げます。  
 当院は24時間365日動くことを基本姿勢とし、医療を展開しております。また、来年の60周年を控え、さらに笑顔で飛躍する阪南病院を目指していきたいと存じます。本年もどうぞご指導賜りますようお願い申し上げます。  
 さて、当院では毎年外来診療を開始する日に新年互礼会を行い、新年をお祝いし、気持ちを引き締め、年初の一步を踏み出します。  
 今年も職員約90名が集い、新年最初の行事が行われました。ホールには紅白の幕と松や葉牡丹、千両などの花を設え、ほんのひと時お正月らしい雰囲気味わうことができました。

## 新年互礼会



平成二十七年  
 新年互礼会  
 式次第  
 開会  
 院歌斉唱  
 理事長挨拶 後藤田理事長  
 院長挨拶 黒田院長  
 乾杯 横井副院長

## 基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。  
 最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。  
 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。  
 地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。  
 信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定



## シクラメン

●桜草(さくらそう)科  
 ●学名:Cyclamen persicum  
 鉢植えの代表格です。この時期、花屋さんの店先で色とりどりに咲くシクラメンを見る機会も多いのではないのでしょうか?シクラメンは鉢植えの代表格です。冬の間にしっかりと美しい花を咲かせます。「カガリビバナ(篝火花)」という別名の他に、「ブタノマンジュウ(豚の饅頭)」というおもしろい和名もあります。これは、シクラメンの球根が豚の餌になることから名づけられたのだとか。ピンク、白、赤、黄、紫色など花色のバリエーションも多く、よく見ると花びらが上に反り返っていて、変わった形をしています。地中海沿岸地方や西アジアが原産ですが、寒さに強く、クリスマスの頃から春の手前まで、花のない季節を彩ります。

## 2015年は乙未



未年。十二支の8番目。方角は南南西(節分の恵方ですね)  
 「未」はその形から、「食物が生い茂って暗い」、そして「果実が熟した状態」を指すと言われます。象形文字で木の枝葉の茂った様を表す「未」ですが、旧暦「未」の月にあたる6月は、様々な作物が成熟する大切な季節です。「未」の字には、豊作への願いがこめられています。また「ひつじ」は中国の吉祥動物の一つです。群れをなすところから「家族の安泰」を表すとされ、いつまでも「平和」に暮らすことを意味しています。

## ■外来診療表 外来診療時間/9:00~12:00(受付は11:30まで) 平成26年11月1日から各医師の診察を各曜日・各診察室で行います。

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
2 診	福田真	秋田	松島	橋元	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	仲山	茶谷	植田
4 診	山本	大矢	濱田	山下		安藤
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	福田晋	土井	正路	永松	土井	宮里
7 診		久保	小深田	和田	作田	小深田
8 診	西村	荒川	西村	河野い	岩田	和田
9 診	熊取谷	柏木	清水	大浦	長谷川	熊取谷
診(心1)			中井			

\*医師の急な都合により、変更・休診となる場合がございますので、予めご了承ください。  
 <ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします>  
 専門外来(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です  
 医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。  
 受診の前にお電話ください。☎072-278-0381 FAX072-281-6615



## 診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科

## 病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 51床(E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- リカバリmix病棟 60床(D2病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- リハビリ(精神療養)病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

## 看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1  
 看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

## 関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあい ☎072-279-1631
- グループホーム/こもれび・青空・そよかぜ  
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 ☎072-278-0381
- グループホームあんの郷  
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい  
堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F  
☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺  
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号  
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506

## 冬の感染対策

インフルエンザ流行のピークは1~2月!いよいよ流行シーズンです。インフルエンザは感染力が強く、日本では毎年約1千万人、10人に1人が感染しています。今冬は年末年始も寒い日が続く、特に1月2日(金)から3日(土)頃にかけて、強い寒気が南下し、関西でも雪が積もるほどの寒さでした。そこで、今一度インフルエンザ対策の徹底をお願いします。

インフルエンザにかからないためには、(1)感染経路を断つこと、(2)予防接種を受けること、(3)免疫力を高めることが大切!そうす、まずは**手洗い**励行です。免疫力を高めるためには普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけましょう。これも難しいことではありませんよ。医療従事者としてしっかり健康管理!していきましょう。ご協力をお願いいたします。

### 正しい手の洗い方

- 手洗いの前に
- 爪は短く切っておきましょう
  - 時計や指輪は外しておきましょう



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

(首相官邸Webページから抜粋)

## みなさまの声

当院では、患者さんやご家族様の声を大切に、投書箱「みなさまの声」を設置しております。担当が月2度回収し、担当部署へ返し、返答をもらってから掲示していますので、掲示板に反映されるには少し時間をいただいておりますが、皆様からの声は病院全体で共有しております。ご意見などございましたら是非お寄せください。外来にはF棟待合にBOXを置いています。



## 地域イベント

# 「グリーンフェスタ2014」

泉ヶ丘駅前の噴水広場で、駅前地区を花と緑で彩るためのイベント「グリーンフェスタ2015」が行われます。昨年は花や緑に関する展示ブース、ステージ演奏(園児和太鼓、大学生アカペラ部ほか)、ゆるキャラショー、子ども向け縁日などの催しに朝から多くのご家族が来られました。今年も当院からブースを出させていただけます。お近くにお寄りの際は是非お越しください。

日時 3月8日(日)  
場所 泉ヶ丘駅前



写真は昨年のグリーンフェスタ参加時のものです。

## 行事食

●12月  
クリスマス



●1月 お正月



当院は敷地内完全禁煙です

## 鳳胃腸病院

当院は病床数44床の地域医療に根差した消化器疾患の専門病院であり、消化器疾患に関しては、内視鏡治療・手術療法等全て対応可能です。当院の特徴は消化器疾患に関して高いレベルの医療を素早く実施できる体制をとっているところにあります。すなわち消化管内視鏡検査(胃・小腸・大腸)・超音波検査・CT検査等を迅速に実施することが可能であり、確実に診断をつけ随時入院・手術できる体制をとっています。

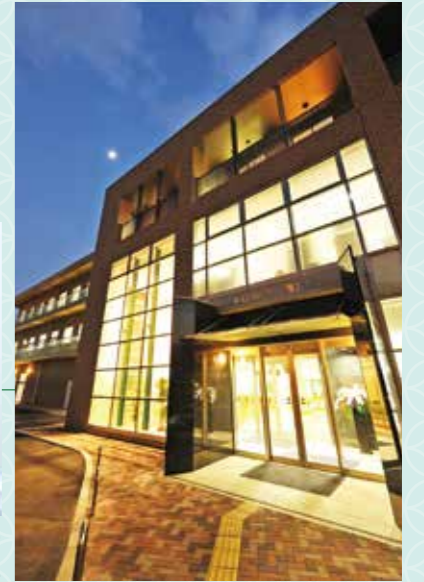
がんの早期発見、消化器疾患の迅速な高度専門治療の提供を実現するために、最新の医療機器や設備を積極的に導入してまいりました。しかし患者さんと接するのは機械ではなくあくまでも人間です。当院は経営理念に「信頼と真心で、コミュニケーションある医療と看護を目指して」を掲げスタッフ一同徹底を図っています。そしてこの理念の下、良質な医療を提供することはもとより、来院いただいた全ての患者さんが満足していただけるよう、スタッフ一同努力しております。

- 住所 〒593-8311 堺市西区上653-1
- 電話番号・HP 072-273-2821 <http://www.otori-icho.jp>
- 最寄駅 JR阪和線「富木駅」
- 診療科 消化器内科、消化器外科、内視鏡内科、内視鏡外科、肛門外科、外科、放射線科



病院長  
田中 英二 先生

## 医療機関紹介 renkei bookmark



## 堺市主催の「障害者週間」フェスティバルが堺市立健康福祉プラザで開催されました。

12月6日、7日に行われたフェスティバルには、プラザ内、各機関のブースや難病啓発コーナーが並び、点字・手話体験、そして障害のある方とない方が一緒に楽しむユニバーサル駅伝など、障害への理解と共生をテーマにした催しがにぎやかに開催されました。

当院では6日だけ、プラザ内で運営する関連施設アブリコットのブースで庭園療法を紹介しました。エントランスに場所をいただいたので往来の中心になり、クリスマスをテーマにした簡単にできる石鹸アートやサシェ(匂い袋)などが大好評。次から次への人だかりとなり、全員が寒さも忘れ、大忙しで対応させていただきました。盛大に行われたフェスティバルでは、野菜や果物販売、あんま体験、そしてアルコール体質かを知る体験コーナーそして、玄関前のロータリーにはラーメンやパンのフードカー、フランクフルトやヨモギ餅の模擬店もあり、私たちが十二分に楽しませていただきました。庭園療法で紹介するのはいつも、お金をかけず、おうちでも簡単にできるもの。うまく動かない指を器用に使って匂い袋のリボンを結んだり、筆を掴んで石鹸に紙ナプキンを細かく張り付けたりと、時間はかかるものの完成度の高い作品を作る子どもさんに、サポートの方が感心されているほほえましい光景もあり、それぞれに楽しんでおられる様子がすてきなひと時でした。

総務課 小田 真由美